

★神崎市地球温暖化対策実行計画の実績報告(平成 30 年度)について

平成 29 年度に策定した「神崎市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」で、市の管理する施設では、2022 年度までに二酸化炭素 (CO₂) 排出量の『5%以上削減』(平成 25 年度実績値を基準)、2030 年度までに二酸化炭素 (CO₂) 排出量の『10%以上削減』(平成 25 年度実績値を基準) を目標として掲げ、省エネルギーに取り組んでいます。

年度	平成 25 年度(基準年度)	2022 年度(目標年度)	2030 年度(目標年度)
温室効果ガス総排出量 (t - CO ₂)	3,649.6	3,456.8	3,274.3

平成 30 年度の温室効果ガス総排出量は 2,077.2 トン(t - CO₂)でした。

○温室効果ガスの総排出量

- ・総排出量は、基準年度(H25)比で約 1,572 トン減少しました。
- ・基準年度(H25)からの増減比率は 43.1%減となりました。

年度	基準年度 (H25)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
温室効果ガス総排出 量(t - CO ₂)	3,649.6	3,342.2	3,101.7	2,966.0	2,782.8	2,077.2	
基準年度 (H25)との 比較	排出量 (t - CO ₂)	—	▲307.4	▲548.0	▲683.6	▲866.8	▲1,572.4
	増減率	—	▲8.4%	▲15.0%	▲18.7%	▲23.8%	▲43.1%

○エネルギー別排出量の比較

発生区分	平成 25 年度(基準年度) 排出量(t - CO ₂)	平成 30 年度 排出量(t - CO ₂)	対基準年度 増減比率
二酸化炭素	3,644.0	2,071.0	▲43.1%
メタン	0.2	0.2	0%
一酸化二窒素	3.9	4.5	15.4%
HFC	1.6	1.5	▲0.06%
合計	3,649.6	2,077.2	▲43.1%

○二酸化炭素排出量の減少理由

電気使用量に関して基準年度(H25)と比較すると電気使用量は増加したものの【参考 1】、電気事業者の温室効果ガス排出係数が低下したことで排出量そのものは大きく減少しています。【参考 2】

【参考 1】 電気使用量(神崎市役所及び関係施設)

年度	基準年度(H25)	平成 30 年度
使用量(kWh)	5,105,664	5,428,972

【参考 2】 電気事業者(九州電力(株))の温室効果ガス排出係数

年度	基準年度(H25)	平成 29 年度
排出係数(t - CO ₂ / kWh)	0.613	0.319